

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
399		八幡町市民館事業経費	01		一般会計
			03		民生費
基本施策	39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	03		同和行政総務費
			02		隣保館費
担当部課名		人権政策部 八幡町市民館	102		隣保館事業経費
作成者氏名	安永 幸二	連絡先	23-3157	01	八幡町市民館事業経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	館対象地区住民及び周辺地域住民	地域に密着した人権・同和問題の解決を図る拠点施設として機能させるとともに、「人権文化のまちづくり」をめざす。
本年度事業内容	① 講座・教室の開設－地区住民の要望に沿った講座教室を開設し、地域内外の住民の交流を図るとともに、教育文化の向上を目指した。 ② 啓発活動－毎月定期的に「市民館だより」を発行し、同和問題の啓発とともに館行事等の情報を発信した。 ③ 各種相談業務の実施－地区住民の生活や住宅問題、教育、就職相談などの相談に応じ、関係機関等と密接な連携を図り、各種制度の活用や指導 助言を行った。	
	平成 年度	終了年度 平成 年度
	根拠法令・要綱等 伊賀市隣保館条例	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	1	1	1
人件費合計(A)	7,200	7,200	7,200
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,191	2,961	2,961
委託料			
報償費	1,353	1,900	1,900
消耗品費	607	435	435
その他	231	626	626
合計(A+B)	9,391	10,161	10,161
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金	1,040	1,450	1,450
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	8,351	8,711	8,711
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値		
		H17	H18	H19
講座教室の開設数		14	12	12
市民館だよりの発行	回	12	12	12
各種相談(生活、健康、教育)件数	件	1481	1500	1500

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
各種講座教室への延べ参加者数	とすれば参加者が固定的になりがちであるが、より広くという視点から参加者数を指標とした	名	1518 目標 ( )	1550	1550
各種相談(生活、健康、教育)件数	地域住民に密着した施設という機能性から、相談件数を指標とした	件	1481 目標 ( )	1500	1500

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

数値化するには難しい面もあるが、教室・講座の開設については、住民の学習ニーズの把握が一番重要である。必要課題や要求課題を見極めるとともに、時代性や経費等について総合的に検討し、スクラップ&ビルトをかけていきたい。  
 各種相談については、住民との密着性や拠点施設としての機能が問われるところでもあり、相談内容が多岐化専門化しているため、対応する職員の資質の向上を図るために積極的に研修機会等を利用していきたい。

評価	必要性	4	教室講座生の固定化という傾向がみられ、特に青年成年層へのアプローチが課題である。地域住民にとつて、より身近な施設であるという機能を認識してもらうとともに、施設の利用拡大に努めたい。	総合評価 <b>D</b>
	有効性	2		
	達成度	2		
	効率性	3		